エコアクション21
環境活動レポート

2015年度版(2015年4月～2016年3月)

エア・ウォーター物流株式会社

【1】組織の概要（平成27年3月31日現在）

会社名称　エア・ウォーター物流株式会社
代表者名　代表取締役社長　　川田　博一
本店〒060-0003
北海道札幌市中央区北3条西1丁目2番地（登記上）
本社〒062-0052
所在地　北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
TEL：011-859-5300　　FAX：011-859-5313

設　立　昭和37年5月12日
資本金　1億7,750万円
売上高　263億9千9百万円(平成27年度)

事業年度　自：4月1日　　至：3月31日
従業員数　903人（平成28年3月末現在）

事業内容
1）貨物自動車運送業
2）自動車運送取扱業
3）自動車分解整備事業
4）倉庫業
5）物流システムコンサルティング
6）低・定温輸送システムによる血漿・医薬品輸送システム
7）流通加工サービス業
8）引越に関する業務全般
9）押入産業保管事業
10）産業廃棄物の収集・処理事業
11）各種機械設置工事の請負

拠点数　本社（業務センター　）6支店　31拠点

主な支店等
■第一支店　■第二支店　■札幌支店　■旭川支店
■帯広支店　■苫小牧支店　■札幌環境営業所（BT千歳センター、埼玉DC,明石DC）

エコアクション21推進責任者
エキスパート事業部長　大戸　英樹

環境管理責任者及び連絡先
エキスパート事業部次長 遣田　尚
〒062-0052北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
TEL：011-859-5301　　FAX：011-859-5311　　E－mail：yarita-his@awi.co.jp

事業内容（認証・登録範囲）
運輸・倉庫業並びに産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処理（収集運搬）業
環境活動レポート発行：平成28年8月25日

□営業拠点一覧(平成28年3月31日現在)

事業所名	郵便番号	住　所	床面積(㎡)
■本社	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	510.00
経営管理本部	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
安全推進本部	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
営業本部	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
事業推進部	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
3PL事業部	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
運輸事業部	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
エキスパート事業部	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
監査室	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
内部統制室	062－0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	
■第一支店	003-0030	北海道札幌市白石区流通センター5丁目5番50号	36,262.76
江別営業所	061-1274	北海道江別市工栄町19番地8	17,990.60
白石営業所	003-0030	北海道札幌市白石区流通センター5丁目5番50	10330.60
YB営業所	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目770番地1	3,854.83
関西センター	063-0835	大阪市西淀川区中島2丁目7番48号	1,410.07
十勝営業所	046-2671	北海道河東郡音更町新通20丁目3番地	2,676.66
北見営業所	099-0878	北海道北見市端野町三区367番地5	
■第二支店	003-0030	北海道札幌市白石区米里1条3丁目5番1号	44,266.45
大曲営業所	061-1274	北海道北広島市大曲工業団地7丁目2番地2	17,179.80
札幌流通センター	003-0030	北海道札幌市白石区米里1条2丁目13番1号	7,133.72
石狩流通センター	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地	15,527.93
流通加工センター	003-0030	北海道札幌市白石区米里1条3丁目5番1号	4,425.00
■札幌支店	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地	1249.12
札幌区域営業所	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地	1140.00
札幌ガス営業所	061-1274	北海道北広島市大曲工業団地7丁目3番地2	109.12
発寒営業所	063-0835	北海道札幌市西区発寒15条13丁目2番30号	
小樽営業所	046-2671	北海道小樽市オタモイ1丁目4番16号	
■旭川支店	078-8253	北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番10号	5,433.97
旭川営業所	078-8253	北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番10号	2263.37
滝川営業所	073-0001	北海道滝川市北滝の川1344番地32	2,142.37
稚内営業所	098-6642	北海道稚内市声問4丁目18番22号	1,028.23
■帯広支店	082-0005	北海道河西郡芽室町東芽室基線5番地7	7370.24
釧路営業所	088-0606	北海道釧路郡釧路町中央5丁目3番地	2505.20
中標津営業所	086-1144	北海道標津郡中標津町東当幌17番地8	1,603.80
帯広営業所	082-0005	北海道河西郡芽室町東芽室基線5番地7	1955.04
美幌営業所	092-0001	北海道網走郡美幌町字高野104番地27	1,306.20
紋別営業所	099-5171	北海道紋別市元紋別63番地	
■苫小牧支店	053-0055	北海道苫小牧市新明町1丁目4番16号	3366.63
沼の端営業所	059-1364	北海道苫小牧市沼ノ端2番地77	51.84
苫小牧ローリー営業所	053-0055	北海道苫小牧市新明町1丁目4番16号	2670.00
室蘭営業所	050-0063	北海道室蘭市港北町1丁目25番地35	320.12
函館営業所	041-0822	北海道函館市亀田港町63番地4号	278.65
苫小牧飼料センター	053-0002	北海道苫小牧市晴海町43番地46	46.02
■エキスパート事業部		北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	5763.62
札幌環境営業所	067－0061	北海道江別市工栄町25番地11	2,113.20
BT千歳センター	066—0051	北海道千歳市泉沢1007番地58	882.00
埼玉DC	343－0044	埼玉県越谷市大泊127番地	2754.42
明石DC	674－0092	兵庫県明石市二見町東二見267番地	14.00
			107589.42

□許可一覧（産業廃棄物、特別管理産業廃棄物　収集運搬）

NO	産業廃棄物収集運搬業			許可品目																				許可取得初年
	都道府県	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アル	廃プラ	紙	木	繊維	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴム	金属	ガラス	鉱さい	がれき	ふん尿	死体	ばいじん	13号	
1	北海道	00110005201	平成27年01月28日 平成32年01月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●		平成5年8月3日
2	旭川市	05010005201	平成26年12月27日 平成31年12月26日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●		平成16年12月27日
3	青森県	00201005201	平成25年08月23日 平成30年08月11日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●		平成10年8月12日
4	岩手県	00300005201	平成25年08月19日 平成30年08月18日						●							●	●							平成10年8月11日
5	秋田県	504005201	平成27年06月11日 平成32年05月29日						●							●	●							平成7年5月30日
6	山形県	609005201	平成25年09月05日 平成30年08月24日						●							●	●							平成10年8月25日
7	宮城県	400005201	平成27年02月01日 平成32年01月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●		平成7年2月1日
8	福島県	00707005201	平成25年10月26日 平成30年10月25日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●		平成5年10月26日
9	栃木県	00900005201	平成27年10月23日 平成32年10月22日						●							●	●							平成7年10月23日
10	茨城県	00801005201	平成28年06月08日 平成33年06月07日	●					●							●	●					●		平成13年4月19日
11	千葉県	01200005201	平成23年09月01日 平成28年08月31日						●							●	●							平成13年4月16日
12	埼玉県	01107005201	平成26年03月14日 平成31年02月28日		●		●		●							●	●							平成11年3月1日
13	東京都	1300005201	平成25年12月04日 平成30年12月03日		●				●							●	●							平成10年12月4日
14	神奈川県	01402005201	平成25年07月31日 平成30年06月03日		●				●							●	●							平成10年6月4日
15	京都市	6500005201	平成25年10月10日 平成30年10月09日	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		●		平成20年10月10日
16	奈良県	2900005201	平成26年11月11日 平成31年11月10日	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		●		平成21年11月11日
17	大阪市	6600005201	平成26年12月08日 平成31年12月07日	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		●		平成21年12月8日

NO	特別管理産業廃棄物収集運搬業			許可品目																				項
	都道府県	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	廃油	廃酸	廃水銀等	廃アル	感染性産業廃棄物	PCB	廃石綿	特定有害産業廃棄物													
											汚泥	鉱さい	廃油	廃酸	廃アル	燃え殻	ばいじん							
1	北海道	00160005201	平成25年7月19日 平成30年6月30日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							平成0年12月27日
2	旭川市	05060005201	平成25年8月3日 平成30年8月2日	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							平成15年8月3日
3	青森県	00251005201	平成24年06月07日 平成29年06月06日	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●							平成24年6月7日
4	秋田県	554005201	平成27年06月11日 平成32年5月29日		●									●										平成7年5月30日
5	宮城県	450005201	平成27年2月1日 平成32年1月31日	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●							平成7年2月1日
6	福島県	00757005201	平成25年10月26日 平成30年10月25日	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●							平成5年10月26日
7	栃木県	00950005201	平成27年10月23日 平成32年10月22日		●									●										平成7年10月23日
8	茨城県	00851005201	平成28年6月8日 平成33年6月7日		●						●			●		●	●							平成13年4月19日
9	千葉県	01250005201	平成23年09月01日 平成28年08月31日		●									●										平成13年4月16日
10	埼玉県	01157005201	平成26年03月14日 平成31年02月28日		●						●			●										平成11年3月1日
11	神奈川県	01452005201	平成25年1月5日 平成30年12月13日		●									●										平成10年12月14日
12	京都市	6550005201	平成25年10月10日 平成30年10月9日	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●							平成20年10月10日
13	奈良県	2905005201	平成26年11月11日 平成31年11月10日	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●							平成21年11月11日
14	大阪市	6650005201	平成26年12月8日 平成31年12月7日	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●							平成21年12月8日

□収集運搬車両

総数	形状	キャブオーバ	現金輸送車	トラクタ	バン	保温車	冷蔵冷凍車	セミトレーラ
354		146	2	28	13	1	18	146
積載重量	4t未満	34	2		4		10	
	4t～10t未満	24					7	
	10t以上	88			9		1	
	18t～20t未満							32
	20t～23t未満							114
	30t～39t			28				
型式	ADG	4		2			1	
	ADF		1		2			
	BDG	15					1	
	BKG	8		3			1	
	KC	51		4			2	
	KJ				2			
	KK	21	1		2		3	
	KL	15		6	2		2	
	KS	3		6				
	LKG	4		2				
	PA					1		
	PB	4			1		2	
	PDG	4					1	
	PKG	4		1	1		1	
	PJ			2	2		1	
	QCG	2						
	QKC	2						
	QKG	6		2	1		1	
	TKG						2	
	U	3						
メーカー	ニッサンディーゼ	15		8	3		4	
	日野	76		12	1		6	2
	いすゞ	12		4	3	1	5	
	三菱	42		4	3		3	
	ベンツ	1						
	トヨタ		2		3			
	東急							93
	トレールモービル							21
	トレクス							12
	フルハーフ							17
	ユソーキ							1

□積み替え保管施設及び処理実績

1　積替え保管施設

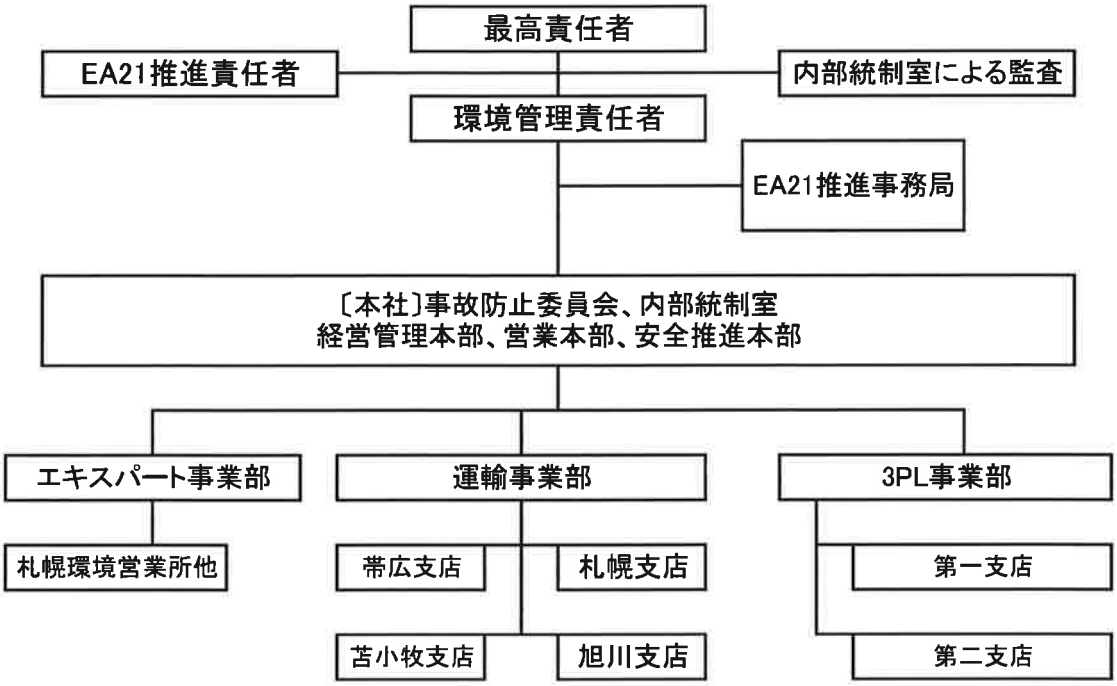
事業所名	所在地	区域	許可の種類		保管面積㎡
札幌環境営業所	北海道江別市工栄町25番地11	北海道	産廃	プ・金・ガ・油・酸・ア・泥	80.00
			特管	酸・泥・ア・油・感	276.80
旭川営業所	北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番	旭川	産廃	燃・泥・酸・ア・プ・金・ガ・油	97.98
			特管	酸・泥・油・ア・感	48.18
稚内営業所	北海道稚内市声問4丁目18番22号	北海道	産廃	プ・金・ガ・酸・ア	4.00
			特管	酸・ア・感・泥	20.00
美幌営業所	北海道網走郡美幌町字高野104番地2	北海道	産廃	プ・金・ガ・酸・ア	4.00
			特管	酸・ア・感・泥	19.00
釧路営業所	北海道釧路郡釧路町中央5丁目3番地	北海道	産廃	プ・金・ガ	3.00
			特管	酸・ア・感・泥・油	21.00
帯広営業所	北海道河西郡芽室町東芽室基線5番	北海道	産廃	プ・金・ガ・油・酸・ア・泥・燃・石	24.00
			特管	酸・ア・感・泥	19.00
苫小牧営業所	北海道苫小牧市あけぼの町1丁目5番	北海道	産廃		
			特管	酸・ア	134.00
室蘭営業所	北海道室蘭市港北町1丁目25番35号	北海道	産廃		
			特管	酸・ア	10.00

2　処理実績（H27年度）

産業廃棄物	種類	重量(t)
	燃え殻	5.52
	汚泥	352.34
	廃油	6861.13
	廃酸	24.97
	廃アルカリ	0.00
	廃プラスチック類	1227.47
	木くず	437.27
	動物性残渣	828.80
	ゴムくず	7660.67
	金属くず	0.02
	ガラス陶磁器くず	284.05
	がれき	608.76
	鉱さい	717.15
	合計	19,008.16

特別管理	種類	重量(t)
産業廃棄物	引火性廃油	194.164
	引火性廃油（有害）	47.012
	強酸	44.011
	強酸（有害）	505.204
	強アルカリ	18.494
	強アルカリ（有害）	20.013
	廃油（有害）	1.068
	汚泥（有害）	571.621
	廃酸（有害）	5.183
	廃アルカリ（有害）	14.813
	感染性廃棄物	3,532.30
	PCB等	98.556
	合計	5,052.460
	総合計	24,060.616
	家電リサイクル取扱量	5,307台

□EA21推進組織図（H28年4月1日現在）



第6−1号

○ 実 施 体 制 表

	役割・責任・権限
最高責任者 代表取締役 （EA21推進責任者に委任）	①実施体制を構築するため、設備、費用を準備して必要な人材の任命 ②環境方針の策定 ③全体の評価と見直し　④環境活動レポート等の文書の承認
環境管理責任者 （エキスパート事業部次長）	①EMSの構築・管理　②環境関連法規等一覧表の承認 ③環境目標・環境活動計画の承認　④環境活動・取組結果の報告 ⑤教育訓練計画等の承認　⑥環境上の苦情対応結果の承認 ⑦環境活動レポート原案の確認
環境活動推進者 （各支店長）	①自部門の環境活動の実施・結果報告　②自部門の文書・手順書の作成管理 ③自部門の記録の作成管理　④自部門の緊急事態への準備及び訓練の実施 ⑤自部門の問題点の発見報告、是正、予防措置の実施
支店EA21推進事務局	①環境管理責任者の補佐　②　環境の負荷・取組の自己チェックの実施 ③環境目標・環境活動計画原案の作成と環境活動実績の取りまとめ ④環境関連法規等取りまとめ一覧表の作成及び遵守の確認 ⑤環境関連の外部コミュニケーションの窓口　⑥環境活動レポートの原案作成
内部監査 （内部統制室による総合監査に含む）	①　ガイドライン及びマニュアルに基づく監査を実施し、代表者へ報告をする。 ②　次の事項について、第三者的立場で評価する。 ⅰ環境方針　ⅱ環境関連法規　ⅲ環境目標及び環境活動計画　ⅳ実施体制 ⅴ緊急事態の対応　ⅵ環境レポート等

【2】環境方針

基本理念

空気と水、この大いなる自然を預かるものとして、産業や暮らしに一番いい形で製品を作ることと同時に、自然に一番いいものづくりを考えたい。役立つために空気も水も、人々に役立ったあとは、そっと自然に戻ってもらう、清浄な根源の姿への回復。これが私たちの未来への責任だと深く考えます。自然界の摂理や生命の循環サイクルに立脚した企業へ、私達は地球資源循環カンパニーを目指します。

環境方針

弊社は、北海道内を中心に37の事業所を有し、シャーシ輸送・高圧ガス輸送・特殊輸送の運輸事業、血漿輸送・NAT検体輸送、産業廃棄物・リサイクルのエキスパート事業、物流センターとしての食品物流事業、流通センター・トランクルーム・引越の流通事業を経営しており、これらの事業に伴って消費する電力及び化石燃料並びに水の使用に伴う排水による環境負荷が最大の要因と考え、環境マネジメントシステムに取り組んで、環境関連法規及び地域社会のルールを遵守し、全従業員が協力して次の事項を推進します。

記

1 電力・化石燃料の使用量を抑制し、CO2排出量の削減に努めます。
2 廃棄物排出量抑制・リサイクルを進め、排水の環境保全に努めます。
3 自動車排ガスによる環境汚染を防止する対策を計画的に推進します。
4 可能な範囲で自主基準を定め管理の向上に努めます。
5 従業員及び関係者に対して環境に関する知識の普及啓発に努めます。
6 環境活動レポートを定期的に作成・公表し環境コミュニケーションに取り組みます。

以上

平成18年4月1日　制定
平成26年7月1日　改訂

エア・ウォーター物流株式会社
代表取締役社長
川　田　博　一

【3】環境目標

1　環境への負荷の状況

項目			単位	H25年度 実績値	H26年度 実績値	H27年度 実績値
廃棄物の状況	二酸化炭素排出量		kg-co_2	23,606,694.64	25,213,310.02	27,847,850.84
	一般廃	再生利用	t	37,242.44	46,155.32	50,524.80
		熱回収焼却	t	62,594.89	53,769.35	38,411.60
		最終処分量	t	335.85	675.00	831.20
	産廃	再生利用	t	63,212.14	89,761.50	62,910.50
		熱回収焼却	t	12,881.00	9,470.00	4,758.00
		最終処分量	t	11,824.70	20,470.20	7,248.00
総排水量			㎥	27,359.90	19,496.00	17,665.80
水使用量			㎥	17,630.90	16,301.00	16,714.50
購入電力量			MJ	91,275,676.04	100,285,982.33	99,272,940.96
化石燃料使用量			MJ	279,616,514.47	295,961,840.71	305,863,072.06
収集運搬量			t	11,417.84	14,255.74	24,060.62
家電リサイクル取扱量			台	62,581	32,315	5,307

※工業用水使用量：3,701㎥

2　環境目標

基準値（H26年度実績）					中長期目標				
環境目標項目			数値	単位	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年
削減	二酸化炭素排出量		27,233,312.51	kg-co_2	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
	購入電力		10,202,032.80	kWh	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
	化石燃料	灯油	82,162.20	L	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
		LPG	133,696.54	kg	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
		ガソリン	91,699.16	L	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
		軽油	7,409,959.13	L	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
	事務用紙投入量		18,641.52	kg	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
	水資源投入量		19,496.00	㎥	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
	廃棄物排出量		224,636.37	kg	−1%	−2%	−3%	−4%	−5%
	化学物質への取組		取組（使用はしていない）		業廃棄物収集運搬、積替え保管に関して適正に管理する				
増大	廃棄物再資源化量		145,386.80	kg	＋2%	+4%	+6%	+8%	+10%
	環境活動の推進				適宜実施				
	グリーン購入推進				年間計画により実施				

※CO2排出係数：H26年北海道電力実排出係数0.683を使用している。

【4】環境活動計画及び取組の内容（支店業務内容により取組の内容を変更して実施ができる）

1　輸送車両からの二酸化炭素排出量の削減(ガソリン、軽油)

1)アイドリングは、冬期間の初期5分以内とする。
　その他駐車中は、アイドリングSTOPを励行する。

2)急発進・急加速等アクセルむらのない安全運転を励行する。

3)法定速度を守り、効率的な運転を励行する。

4)タイヤ空気圧を適正に保つ等、定期的な点検・整備を実施する

エコドライブ啓

2　電力使用による二酸化炭素排出量の削減

1)室内及びトイレの照明は、適切な照度を保つとともに自然光を取り入れ、使用していない時間帯は消灯する。

2)パソコン、プリンター、コピー機及び電力機器類は、使用時のみ電源を入れる。

3)OA機器及び蛍光灯は、交換時期には、省エネタイプに取り替える。

環境保全啓発

エアコンの温度設

節電啓発

《自然エネルギー利用の冷蔵システム　白石営業所　》

雪を利用した冷蔵システ

札幌低温センター

雪冷蔵庫内部

雪を投入した雪貯蔵庫

3 1)冬期間の暖房は、温度計を設置して20℃～22℃を守る
（ウオームビズの推進）
2)暖房機器の適切な整備・点検。
3)工場等は、部屋を分けて可能な限りシャッターを閉じ、解放面を少なくする。
4)暖房機器の更新時には、省エネ機器へ切替え導入する。

《暖房器の温度設定》

4 1)一廃の廃容器類は、資源ごみとして自治体のリサイクル事業に協力する。
2)用紙類は、裏紙を使用して排出量の削減に取り組む。
3)使用済み新聞、雑誌、段ボール等は、可能な限り分別・選別して資源化を図る。

《容器類・廃棄物の分別状況》

5 用紙使用量の削減
1)再生紙の使用促進及び古紙のリサイクル推進。
2)両面印刷、両面コピーの徹底による紙使量の削減。
3)電子メディア等の活用によるペーパーレス化の推進

《節水啓発》

6 水使用量の削減
1)水使用時は、給水ハンドルを全開しない。
2)洗車時間の短縮に努め、過剰な噴射をし防ぎ水使用量を削減す
3)雨水を地下浸透させる工夫とともに、水道配管からの漏洩を防ぐ

7 環境活動の推進
環境コミュニケーションはエコアクション21を推進する重要な手段であり、拠点において推進する。
①地域におけるコミュニケーション推進
②関係企業とのコミュニケーション推進
③部門間のコミュニケーション推進
④地域活動への積極的参加（イベント、防災、清掃）

8 化学物質への取組
産業廃棄物収集運搬・積替え保管に際して適正に取扱・管理する。

《営業所に配備の血液配送恒温車》

9 グリーン購入の推進
「グリーン購入比率」は低燃費車両導入、照明機器、再生紙、事務用品、作業服について全社共通の目標として業務センター（本社）で管理する。

【5】環境目標の実績

環境目標の項目			H25年度	H26年度		H27年度	
環境目標項目		単位	基準値	実績値	増減(%)	実績値	増減
削減	二酸化炭素排出量	kg-co_2	25,401,151.85	27,233,312.51	107.21%	27,847,850.84	102.26%
削減	購入電力		9,285,419.74	10,202,032.80	109.87%	10,098,976.70	98.99%
削減	化石燃料 灯油	L	113,844.50	82,162.20	72.17%	78,252.50	95.24%
削減	化石燃料 LPG	kg	40,642.04	133,696.54	328.96%	124,063.95	92.80%
削減	化石燃料 ガソリン	L	83,387.33	91,699.16	109.97%	87,003.40	94.88%
削減	化石燃料 軽油	L	7,045,445.81	7,406,601.13	105.13%	7,689,865.90	103.82%
削減	事務用紙投入量	kg	16,445.60	17,215.54	104.68%	11,734.30	68.16%
削減	水資源投入量	㎥	17,630.90	16,145.50	91.58%	20,415.50	126.45%
削減	廃棄物排出量	kg	230,160.10	223,208.39	96.98%	170,802.70	76.52%
削減	化学物質への取組	取組状況	産業廃棄物収集運搬、積替え保管時の適正管理				
増大	廃棄物再資源化量	kg	119,502.40	145,386.80	121.66%	118,292.00	81.36%
増大	グリーン購入推進		適宜実施				

※ 1二酸化炭素排出量の計算は、北海道電力H26年度実排出係数0.683kg-Co_2/kWhを使用している。

支店名と主な業務	環境目標項目	単位	H25年度 実績値	H26年度 実績値	H27年度 実績値
第一支店 オールイン低温倉庫食品流通センター	CO2排出量	kg-co2	4,550,166.18	5,976,290.57	5,972,915.41
	電力使用量	kWh	5,941,188.50	7,042,251.00	7,092,167.00
	化石燃料 灯油使用量	L	18,603.70	19,218.60	3,333.60
	化石燃料 LPG使用量	kg	39.58	102,868.86	3,702.40
	化石燃料 ガソリン使用量	L	14,151.30	25,747.20	5,970.40
	化石燃料 軽油使用量	L	151,915.00	285,738.00	304,203.50
	用紙使用量	kg	8,498.10	9,223.00	2,944.00
	水使用量	㎥	4,052.00	4,513.00	4,737.00
	廃棄物排出量	kg	36,707.60	42,553.80	78,810.10
第二支店 食品流通管理流通加工引越・商品センター	CO2排出量	kg-co2	1,936,193.39	1,997,852.28	1,960,472.14
	電力使用量	kWh	1,929,187.20	1,707,519.79	1,504,290.60
	化石燃料 灯油使用量	L	7,802.90	3,333.60	2,895.30
	化石燃料 LPG使用量	kg	3,686.30	3,702.40	4,336.24
	化石燃料 ガソリン使用量	L	7,281.10	5,970.42	4,702.80
	化石燃料 軽油使用量	L	217,633.40	304,203.50	343,664.00
	用紙使用量	kg	3,289.00	2,960.10	2,419.40
	水使用量	㎥	4,525.00	4,868.00	4,577.00
	廃棄物排出量	kg	44,091.30	78,826.10	86,412.10
札幌支店 高圧ガス輸送常温・危険物倉庫	CO2排出量	kg-co2	2,471,499.11	2,417,649.84	2,397,077.68
	電力使用量	kWh	167,752.00	162,875.00	172,692.00
	化石燃料 灯油使用量	L	4,424.80	3,901.00	5,031.80
	化石燃料 LPG使用量	kg	6,897.86	5,046.87	6,534.78
	化石燃料 ガソリン使用量	L	6,612.50	3,161.27	0.00
	化石燃料 軽油使用量	L	880,160.00	866,578.00	856,205.00
	用紙使用量	kg	863.00	1,052.50	391.40
	水使用量	㎥	1,916.00	1,922.50	1,055.00
	廃棄物排出量	kg	1,331.00	2,076.50	391.40
旭川支店 各種輸送産業廃棄物運搬	CO2排出量	kg-co2	3,581,830.33	3,548,950.22	3,697,346.23
	電力使用量	kWh	122,321.00	137,167.00	113,427.00
	化石燃料 灯油使用量	L	20,528.50	14,523.00	15,962.10
	化石燃料 LPG使用量	kg	4,387.40	4,582.60	4,646.74
	化石燃料 ガソリン使用量	L	11,825.20	7,798.80	16,319.10
	化石燃料 軽油使用量	L	1,298,042.40	1,290,691.00	1,334,438.00
	用紙使用量	kg	835.00	1,091.30	449.10
	水使用量	㎥	1,142.00	1,145.00	1,221.00
	廃棄物排出量	kg	9,653.80	16.112.0	12,662.2

支店名と主な業務	環境目標項目		単位	H25年度 実績値	H26年度 実績値	H27年度 実績値
帯広支店 各種輸送 産業廃棄物 運搬	CO2排出量		kg-co2	4,960,833.83	4,672,244.64	4,944,940.03
	電力使用量		kWh	144,696.00	136,694.00	125,075.00
	化石燃料	灯油使用量	L	17,128.30	16,807.00	16,195.40
		LPG使用量	kg	1,251.52	1,181.30	1,075.57
		ガソリン使用量	L	18,124.40	17,859.40	18,628.90
		軽油使用量	L	1,818,929.00	1,711,665.00	1,818,620.00
	用紙使用量		kg	1,436.30	1,161.50	1,189.20
	水使用量		m^3	324.90	260.50	300.20
	廃棄物排出量		kg	31,420.00	14,593.50	12,907.40
苫小牧支店 シャーシ輸送 高圧ガス輸送 産業廃棄物 輸送 飼料センター	CO2排出量		kg-co2	6,686,190.09	6,995,412.37	7,100,611.12
	電力使用量		kWh	179,084.00	179,344.00	171,791.00
	化石燃料	灯油使用量	L	28,160.30	15,412.70	8,262.20
		LPG使用量	kg	12,670.86	10,912.00	7,804.67
		ガソリン使用量	L	18,931.90	18,966.10	15,044.40
		軽油使用量	L	2,443,171.00	2,575,018.00	2,630,885.00
	用紙使用量		kg	1,586.20	2,641.40	1,926.00
	水使用量		m^3	2,872.50	2,894.00	4,658.00
	廃棄物排出量		kg	45,959.60	54,708.60	25,237.30
エキスパート事業部 産業廃棄物 運搬 血液製剤等 特殊輸送	CO2排出量		kg-co2	25,401,151.85	1,624,912.60	1,774,488.24
	電力使用量		kWh	788,887.00	836,182.00	919,534.00
	化石燃料	灯油使用量	L	8,594.30	8,966.30	10,236.70
		LPG使用量	kg-co2	694.28	5,402.50	8,456.99
		ガソリン使用量	L	9,984.80	12,195.90	10,063.00
		軽油使用量	L	357,498.00	376,065.60	408,554.90
	用紙使用量		kg	585.40	511.70	386.60
	水使用量		m^3	823.00	698.00	676.00
	廃棄物排出量		kg	21,044.50	15,766.80	5,956.70
業務センター（本社）	グリーン購入	低燃費車両導入	台	年次計画により順次導入する		
		照明機器の入替え	件	随時実施		
		再生紙購入量	kg	適宜実施		
		作業服	%	特殊作業用以外は100%実施		

※業務センターはエア・ウォーターグループ内にあり当社の管理外にある、電力使用量等の把握項目はグループ会社で管理されているため含めていない。

※第一支店のYB営業所、関西センター、十勝営業所,北見営業所は取扱先企業内のため把握可能な範囲で含めている。

※化学物質の管理は、エア・ウオーターグループ会社として、基準に従い適正管理を行っている。

※資源・エネルギー等使用量については、毎月の各支店経営会議で把握・評価している。

【6】環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

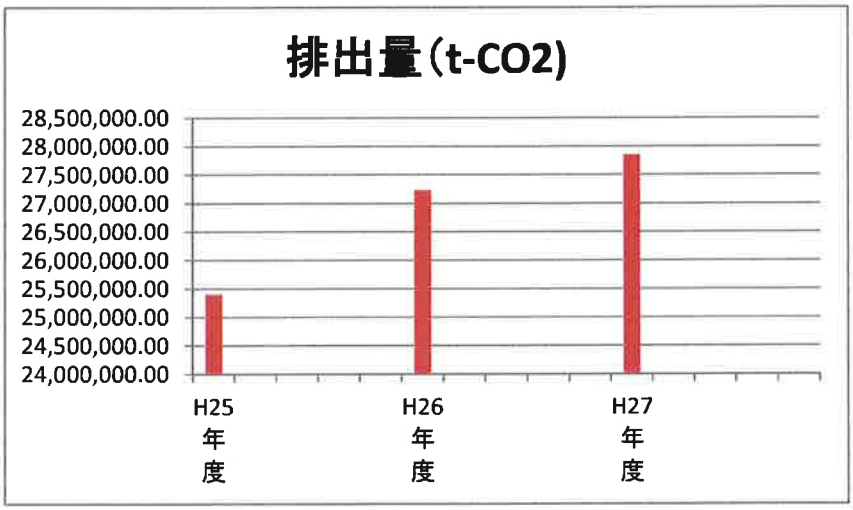
平成23年度を基準年として環境活動を拡大し、平成24年度には全支店に拡大した。
支店業務の改編も一段落したので、平成26年度値を基準値として環境目標を更新した一年目である。
支店により、主な業務内容が異なりエネルギー使用量についても同様である。
購入電力等エネルギー使用の割合が大きく変化しており、原単位による評価を併用している。

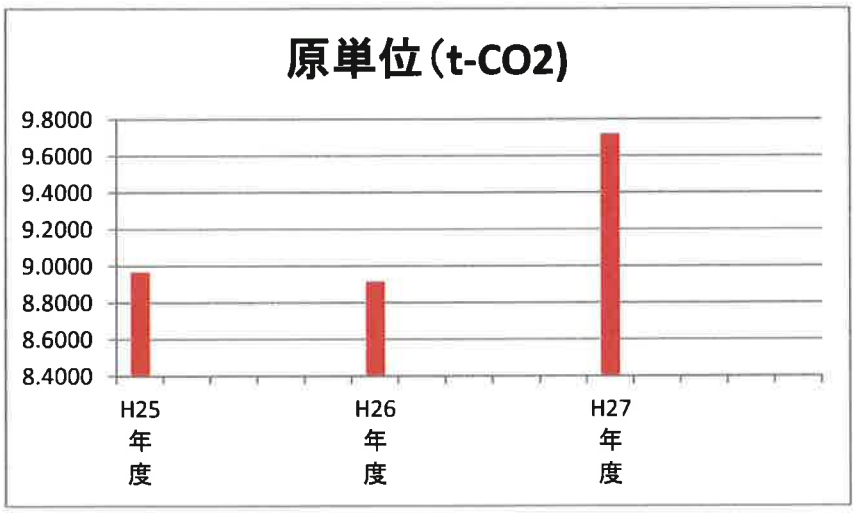
Ⅰ　取組結果とその評価

1.CO2排出量

（H27/H26）

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
排出量(t-CO2)	25,401,151.85	27,233,312.51	27,847,850.84	102.26%
原単位(t-CO2)	8.9672	8.9143	9.7207	109.05%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





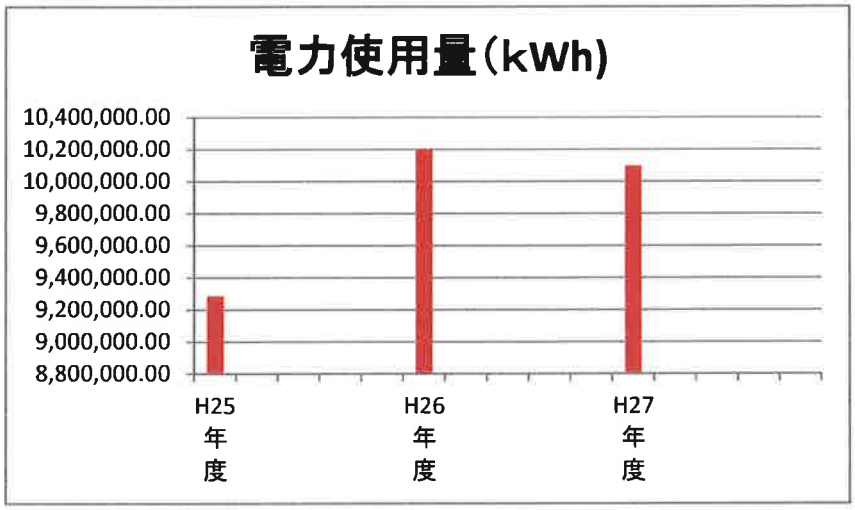
評価　×	目標(基準年)	−1.0%
	結果(基準値)	2.26%
	(前年比)	2.26%
	原単位	9.05%

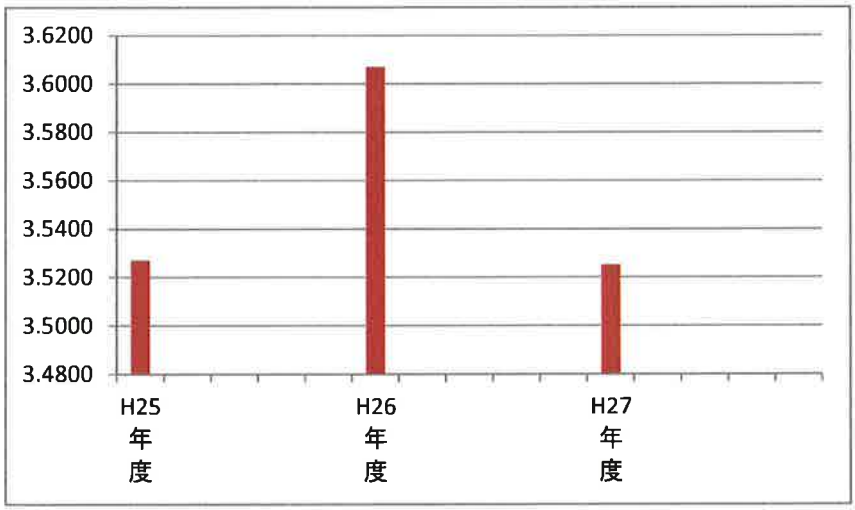
第一支店、第二支店、札幌支店で減少し、他は増加している。

2.購入電力削減

(H27/H26)

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
電力使用量(kWh)	9,285,419.74	10,202,032.80	10,098,976.70	98.99%
原単位(kWh)	3.5272	3.6070	3.5252	97.73%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





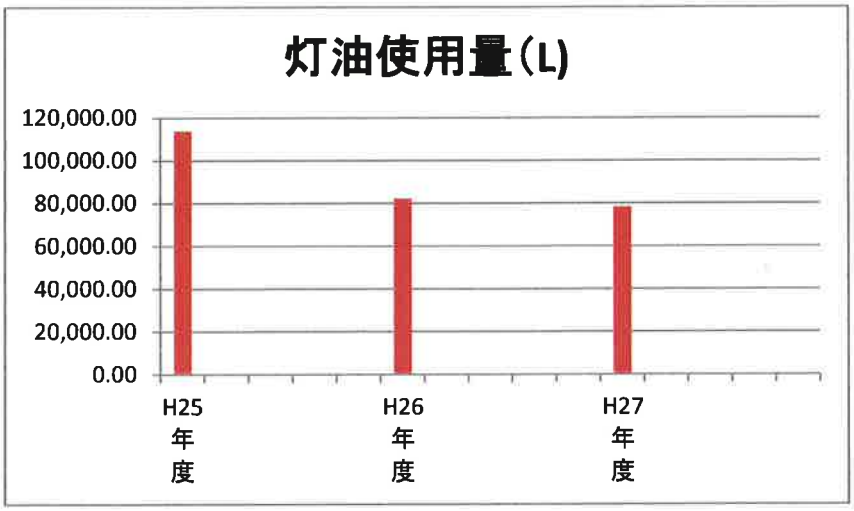
評価　○	目標(基準年)	−1%
	結果(基準値)	−1.01%
	(前年比)	ー1.01%
	原単位	ー2.27%

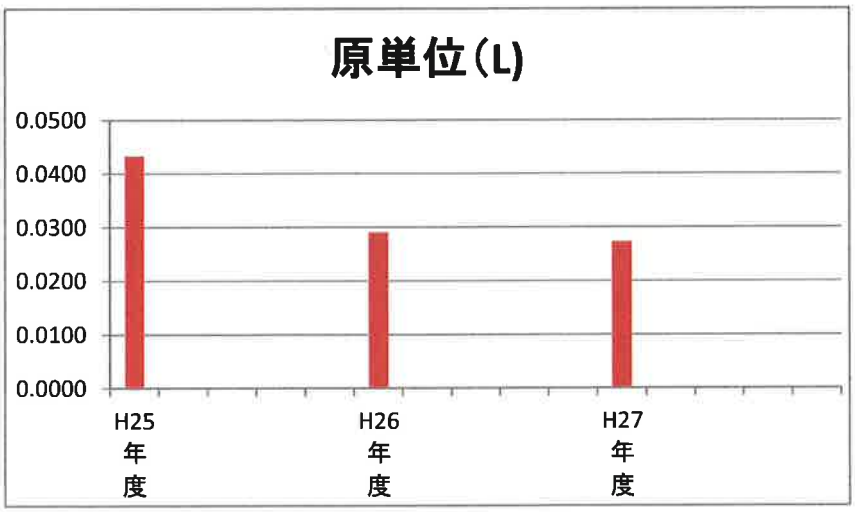
第一支店、札幌支店、エキスパート事業部で増加し、他では減少している。
第一支店の電力使用量は、全体の703.%を占めており、省エネが進んでいる。

3.灯油使用量削減

(H27/H26)

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
灯油使用量(L)	113,844.50	82162.2	78,252.50	95.24%
原単位(L)	0.0432	0.0290	0.0273	94.03%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





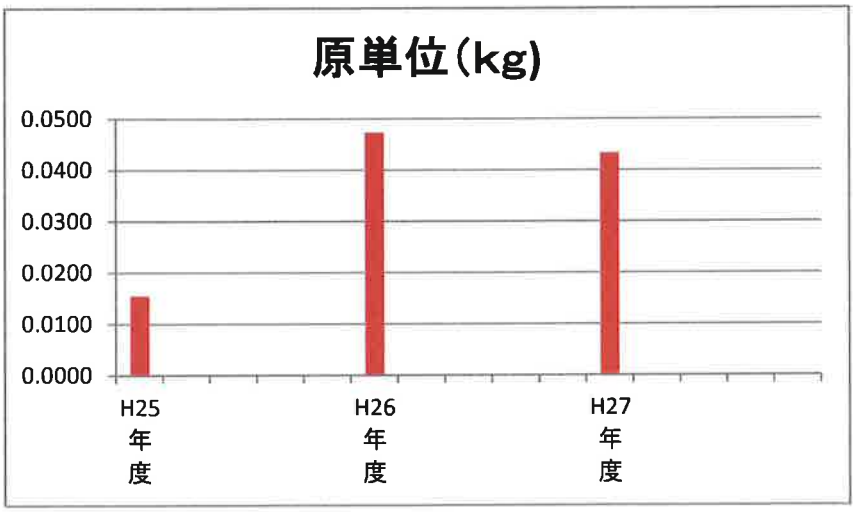
評価 ○	目標(基準年)	-1%
	結果(基準値)	―4.76%
	(前年比)	―4.76%
	原単位	-5.97%

灯油使用量は、冬期間の寒暖に影響するが、LPGへの切り替えが進んでおり減少傾向にあり室温・整備管理を徹底して効率的な使用に努めている。
第一支店、札幌支店、旭川支店、エキスパート事業部で増加し、他では減少した。

4.LPG使用量削減

（H27/H26）

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
LPG使用量（kg）	40,624.04	133696.1	124063.95	92.80%
原単位（kg）	0.0154	0.0473	0.0433	91.62%
支店生産高（万円）	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%



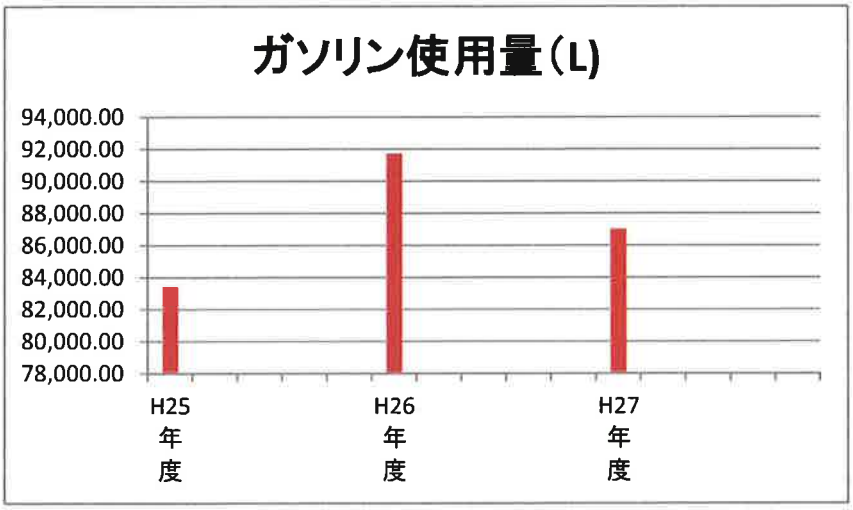
評価　○	目標（基準年）	−1%
	結果（基準値）	−7.20%
	（前年比）	−7.20%
	原単位	−8.38%

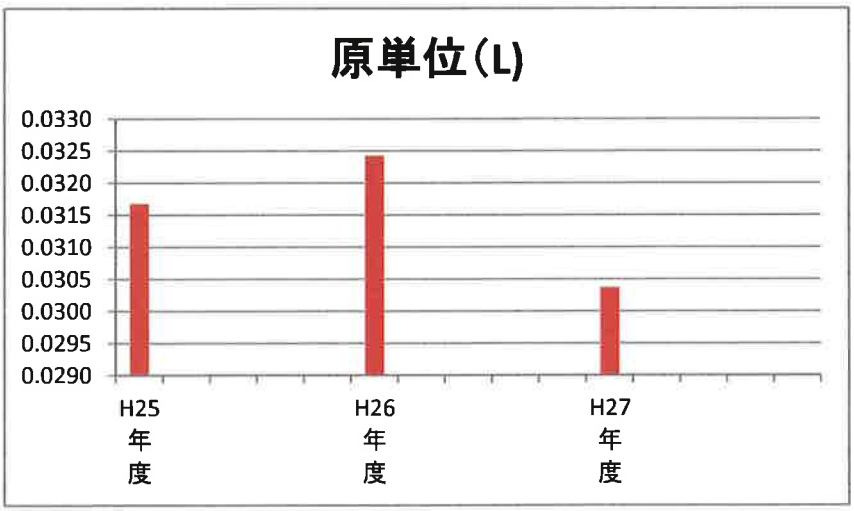
動力用と空調等の使用があり、支店により大きくバラつきがある。
第二支店、札幌支店、エキスパート事業部で増加し、他では減少している。

5.ガソリン使用量削減

(H27/H26)

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
ガソリン使用量(L)	83,387.33	91699.16	87003.40	94.88%
原単位(L)	0.0317	0.0324	0.0304	93.67%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





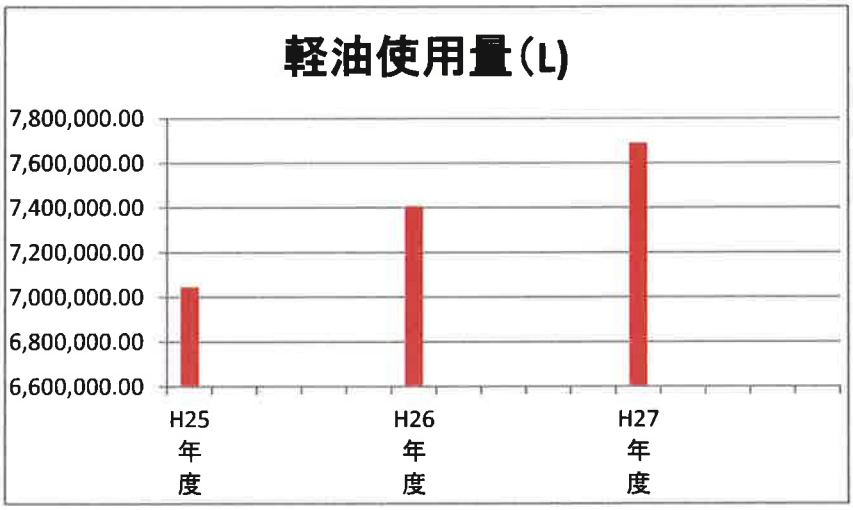
評価 ○	目標(基準年)	-1%
	結果(基準値)	-5.12%
	(前年比)	-5.12%
	原単位	-6.33%

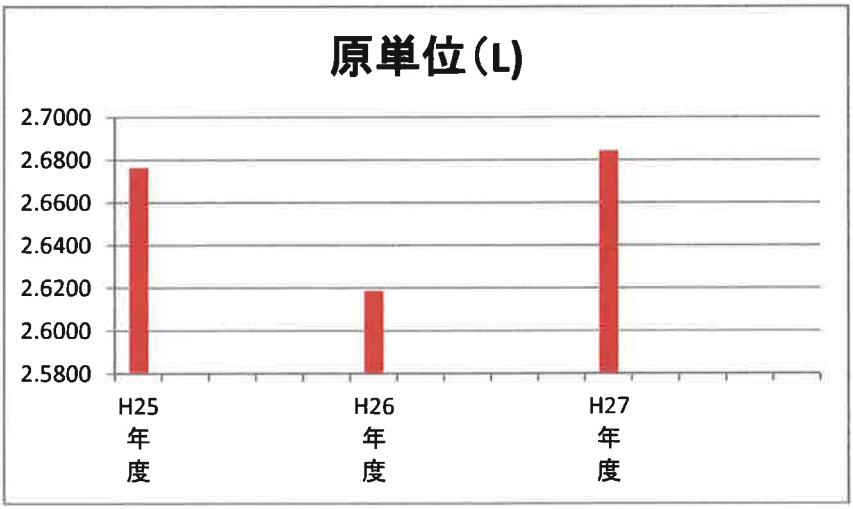
ガソリン使用車両は使途が限定されており、効率的に使用している。
低公害車導入の効果もある。原単位評価では6.33%減少している。
エネルギーバランスは0.74%と低い。

6.軽油使用量削減

(H27/H26)

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
軽油使用量(L)	7,045,445.81	7,406,601.13	7,689,865.90	103.82%
原単位(L)	2.6763	2.6186	2.6843	102.51%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





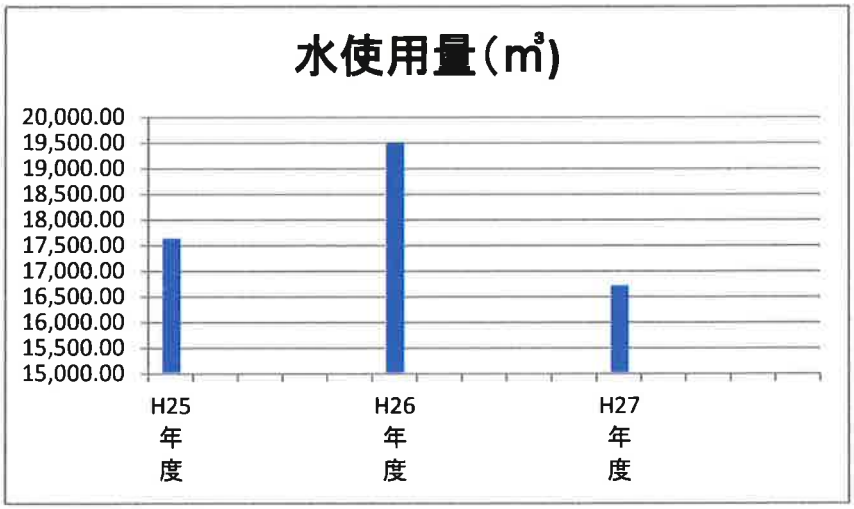
評価 ×	目標(基準年)	−1%
	結果(基準値)	3.82%
	(前年比)	3.82%
	原単位	2.51%

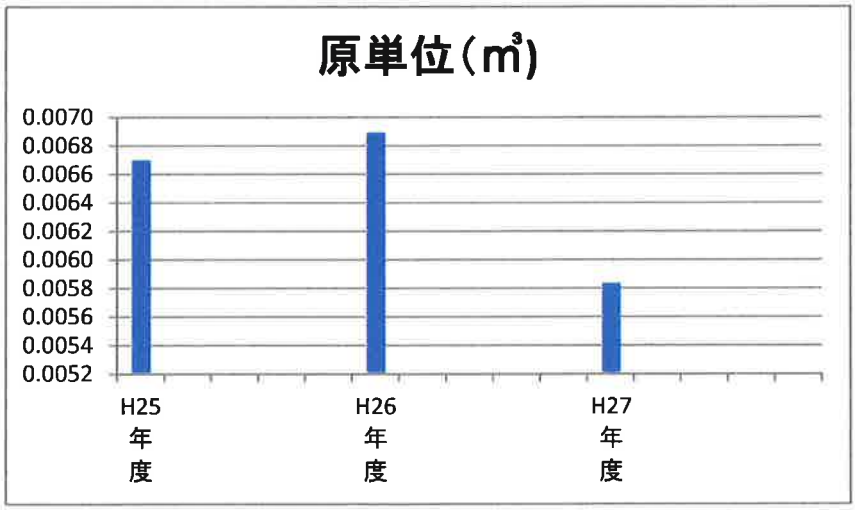
物流事業の主エネルギーであり、エネルギー使用割合は電力が24.50%軽油が72.51%となっている。低公害車の計画的な導入と省エネ意識の向上が現れている。第一支店で大きく減少しているが、他では少しづつ増加している。走行量は5.09%増加しており、燃費は向上している。

7.水使用量削減

(H27/H26)

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
水使用量(㎥)	17,630.90	19,496.00	16,714.50	85.73%
原単位(㎥)	0.0067	0.0069	0.0058	84.64%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





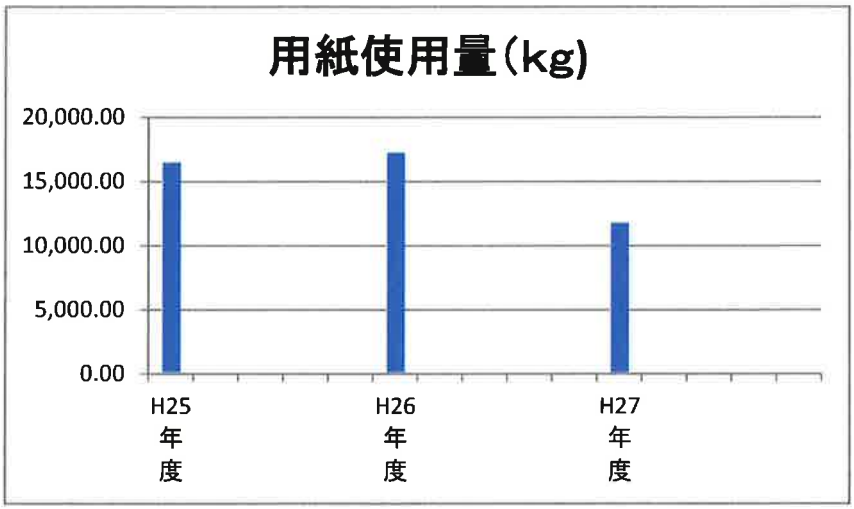
評価 ○	目標(基準年)	−1%
	結果(基準値)	−14.27%
	(前年比)	−14.27%
	原単位	−15.36%

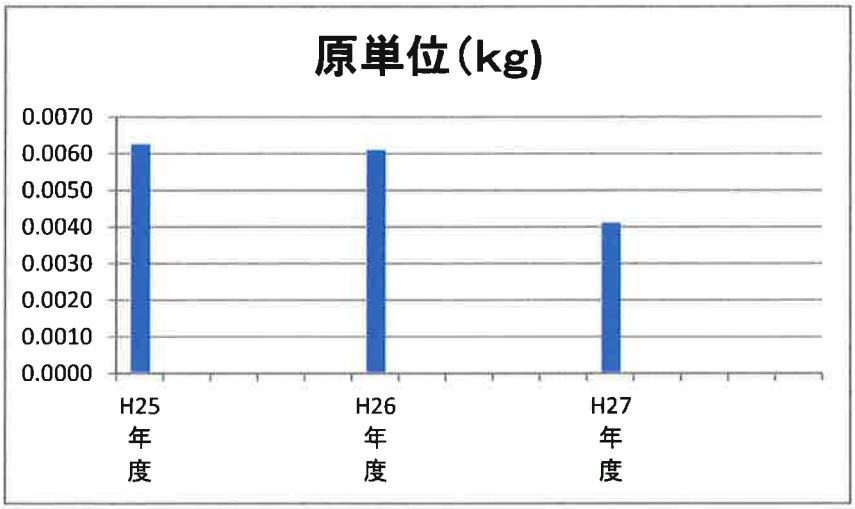
札幌支店で大きく減少し、苫小牧支店では大きく増加した。
大半(83%)の使用量は、第一支店、第二支店、苫小牧支店である。

8.用紙使用量削減

(H27/H26)

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
用紙使用量(kg)	16,445.60	17,215.54	11,734.30	68.16%
原単位(kg)	0.0062	0.0061	0.0041	67.30%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





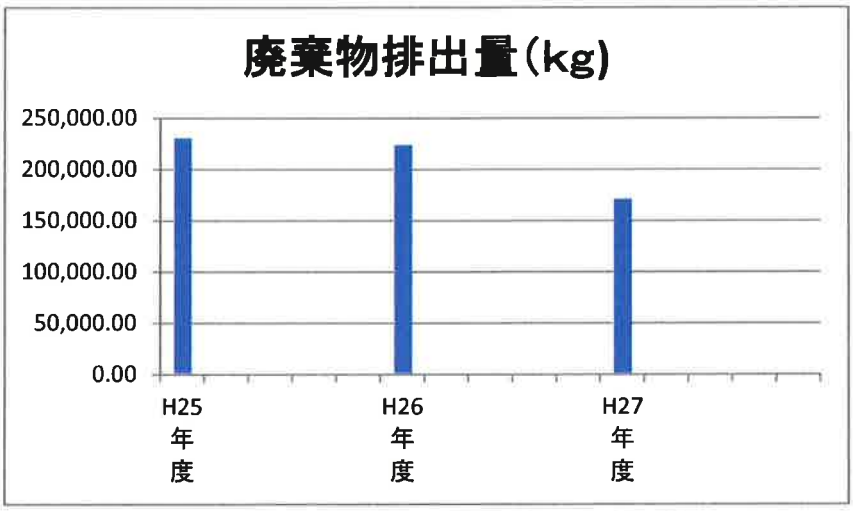
評価 ○	目標(基準年)	-1%
	結果(基準値)	-31.84%
	(前年比)	-31.84%
	原単位	-32.70%

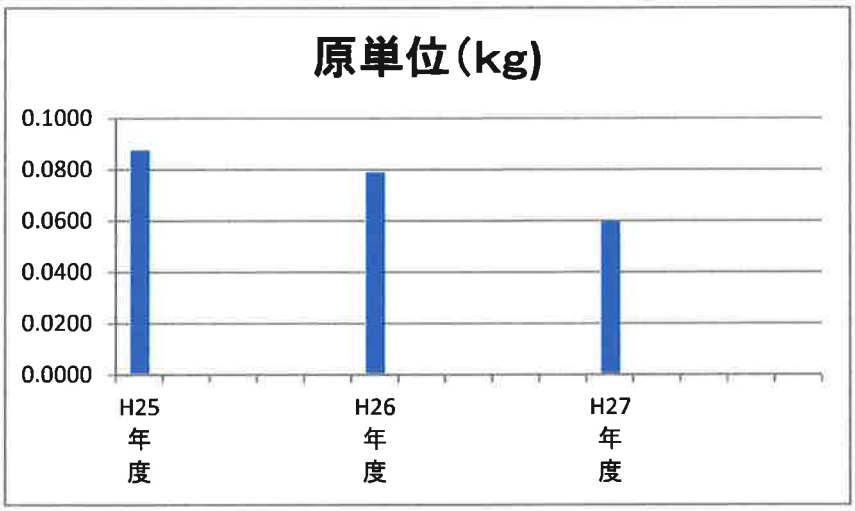
用紙使用量については、大量に使用するため複合プリンタのカウンター数を紙 重量に変換している。そのため両面コピーもカウントされ増加する傾向にある。ほぼ全支店で減少した結果となっている。

9.廃棄物排出量削減

(H27/H26)

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
廃棄物排出量(kg)	230,160.10	223,208.39	170,802.70	76.52%
原単位(kg)	0.0874	0.0789	0.0596	75.55%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





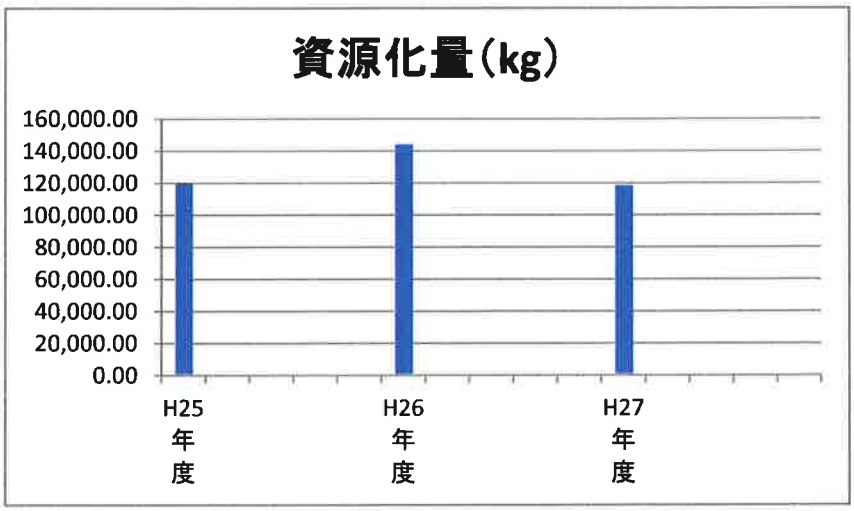
評価 ○	目標(基準年)	-1%
	結果(基準値)	-23.48%
	(前年比)	ー23.48%
	原単位	-24.45%

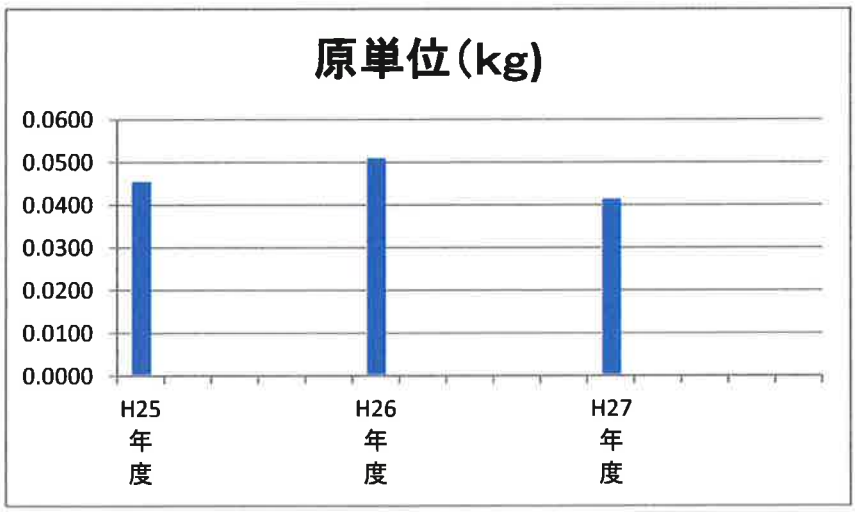
廃棄物排出量は不定期で、大量に出る場合もある、近年減少傾向にある。再資源化・リサイクルの徹底をして資源の効率的使用を推進する。

10廃棄物資源化量増加

(H27/H26)

	H25年度	H26年度	H27年度	増減率
資源化量(kg)	119,502.40	143,649.78	118,292.00	82.35%
原単位(kg)	0.0454	0.0508	0.0413	81.30%
支店生産高(万円)	2,632,549.90	2,828,421.00	2,864,806.00	101.29%





評価　×	目標(基準年)	2%
	結果(基準値)	−17.65%
	(前年比)	−17.65%
	原単位	−18.70%

廃棄物排出量の増加率は基準年対比76.52%に対して、資源化率は82.35%であるが、各支店において分別・リサイクルの推進に努力している。

Ⅱ.次年度の取組内容(H28年度)　活動内容は見直しているが、全体としては同様な内容になっている。

取組計画	主たる取組内容
二酸化炭素排出量の削減 1、輸送車両からの二酸化炭素排出量の削減 目標:基準値比2%削減 活動計画:購入エネルギー量の削減 2、電力使用による排出量の削減 目標:基準値比2%削減 3、灯油・LPG等の使用による排出量削減 目標:基準値比2%削減	二酸化炭素排出量削減に務めます。 1、エコドライブの徹底に努めるほか、低燃費車両の導入を計画的に進めるとともに、車両の整備・点検の徹底、従業員の環境意識向上に努める。 2、LED等の高効率照明に更新し効率的運用を図る。 第一支店5温度帯センターは、雪を利用した自然エネルギーの冷熱活用も引き続き推進する。 3、冬期間の気象の影響を受るが、LPGへの転換を進め効率的運用を図る。(温度設定20℃の徹底)
4、廃棄物の削減 目標:基準値比2%削減	4、廃棄物排出量は削減を図るとともに、熱回収、再生利用に努め、最終埋立量を削減に務める。
5、紙類使用量の削減 目標:基準値比2%削減	5、再生紙の使用促進、両面コピーを徹底する。 また、ペーパーレスの推進を図る。
6、水使用量の削減 目標:基準値比2%削減	6、水使用量については、年間を通して削減に務める。
7、廃棄物再資源化量の増大 目標:基準値比4%増大	7、再資源化量の増大に努める。 年間を通じての廃棄時期が一定ではないが、再資源化を推進する。
8、化学物質への取組 化学物質は使用していない。	8、化学物質は使用していないが、産業廃棄物収集運搬、積み替え保管等の際、適正に取扱い保管に努める。
9、環境活動の推進 環境コミュニケーションはエコアクション21を推進する重要な手段として、各拠点において推進する。	9、地域、関係企業、部門間のコミュニケーションの推進及びイベント、防災、清掃等の地域活動への積極的な参加を推進する。
10、グリーン購入の促進 作業着、事務用品、トイレットペーパーは概ね達成しているので現状を維持する。 今後は、低燃費車両の導入、照明機器の入 再生紙購入量の拡大に努める。 ■業務センター(本社)で全て管理する。	1)　低燃費車両の導入は年度計画により推進する。 2)　作業着については、特殊作業用以外は100%再生資源を含むものを調達する。 3)　照明機器、電力機器等は更新時に省エネタイプに入れ替える。 4)　再生紙の使用を極力拡大する。

【7】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1　適用となる主な環境関連法規等（廃棄物処理業に関係するもの、他はグループ企業の法令基準に従う）

主な適用法規	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	産廃排出・委託契約、収集運搬・処理基準・運搬車両・保管施設	遵守確認
水質汚濁防止法	特定施設の設置届、油漏れした場合の、公共水域への流出の	遵守確認
大気汚染防止法	車両排ガスの基準順守	遵守確認
省エネ法	エネルギー管理統括者等の選任・使用量の報告	遵守確認
下水道法	下水道の受け入れ基準	遵守確認
道路運送車両法	車両の排ガス・騒音の防止	遵守確認
高圧ガス保安法	緊急措置、移動、排気塔の規定遵守	遵守確認
消防法・条例	貯油施設等の届出	遵守確認
北海道循環型社会形成推進に関する条例	産廃の委託先の調査・記録	遵守確認

上記の通り、当社に適用される主な環境関連法規等について平成28年3月31日遵守状況を確認し、適切と評価している。（内部統制室による業務監査により確認）

2　環境関連法規への違反、訴訟等の有無

過去3年間に関係当局から違反の指摘はなく、訴訟の事実もありません。

3 行政への報告など

環境省・国土交通省等からの各指導・報告等については適正に行いました。

【8】代表者による全体の評価と見直しの結果

1、【環境方針】

現状のままとする。

2、【環境関連法規の取りまとめ】

環境関連法規一覧表及び環境関連法規等の確認については、変更しない。

3、【環境目標及び環境活動計画】

支店ごとに業務内容が異なるため、環境活動計画の内容について支店ごとに見直し検討すること。

H27年度の環境活動結果については、全体として評価できる結果と判断した。

4、【実施体制】

現状の実施体制は、計画通り機能しており変更はしない。。

5、【文書及び記録】

特に見直しの必要はないが、効果的に運用するため支店・営業所ごとの提案を尊重して使いやすくしたい

※その他、他の認証システム等重複する活動については、支店・営業所において重複しない工夫をすること。

■お問い合わせ

本レポートに関するお問い合わせは、当社の環境管理責任者までご連絡ください。